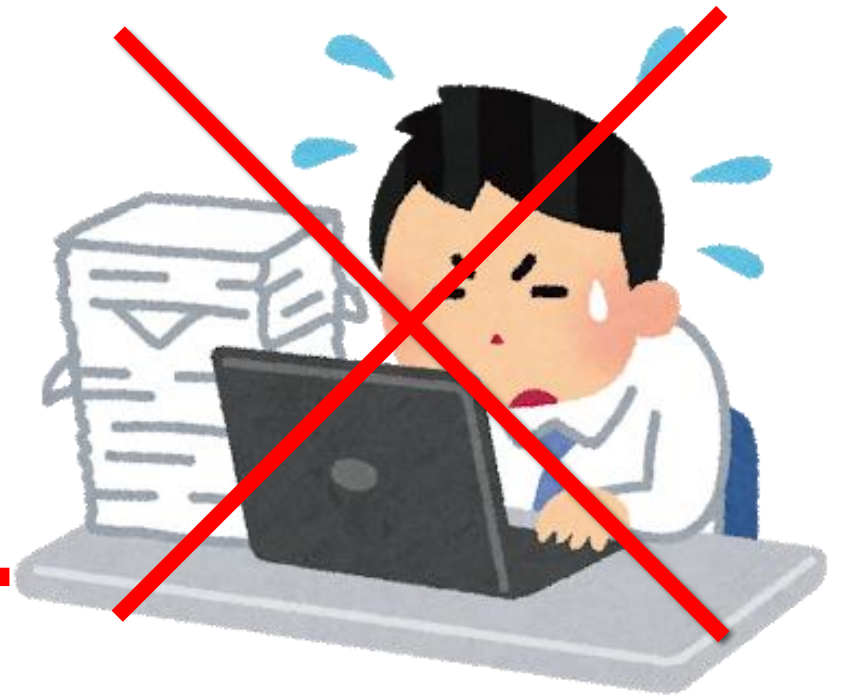


# 21世紀の 理想的な働き方



長野県長野工業高等学校 情報工学科

高橋颯 高橋梨乃

# テーマ設定の理由

---

より多くの人々が働き甲斐を感じ、  
経済が発展していくような**働き方改革**を、  
より多くの企業が推進できるような社会に  
なっていってほしいと思ったから。

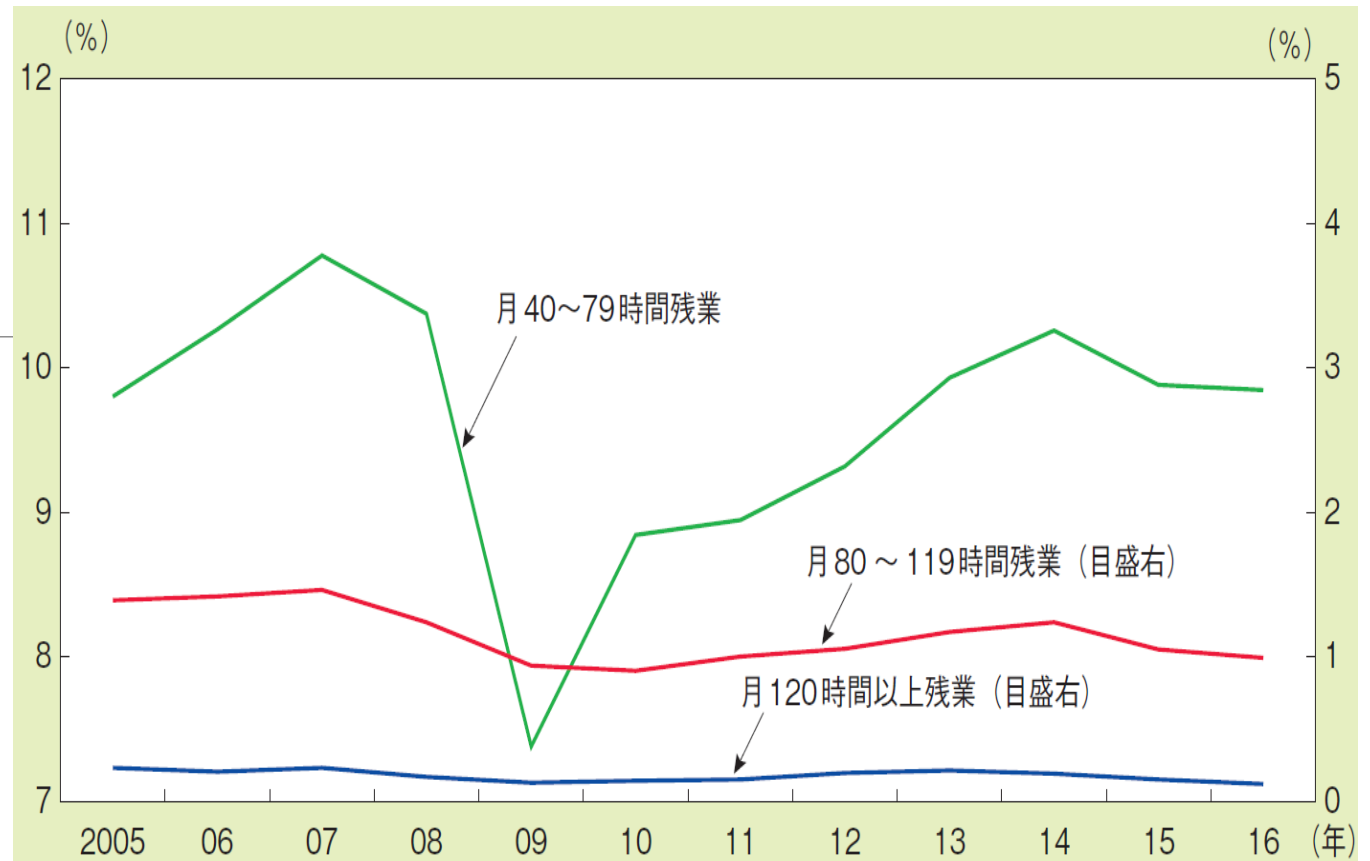
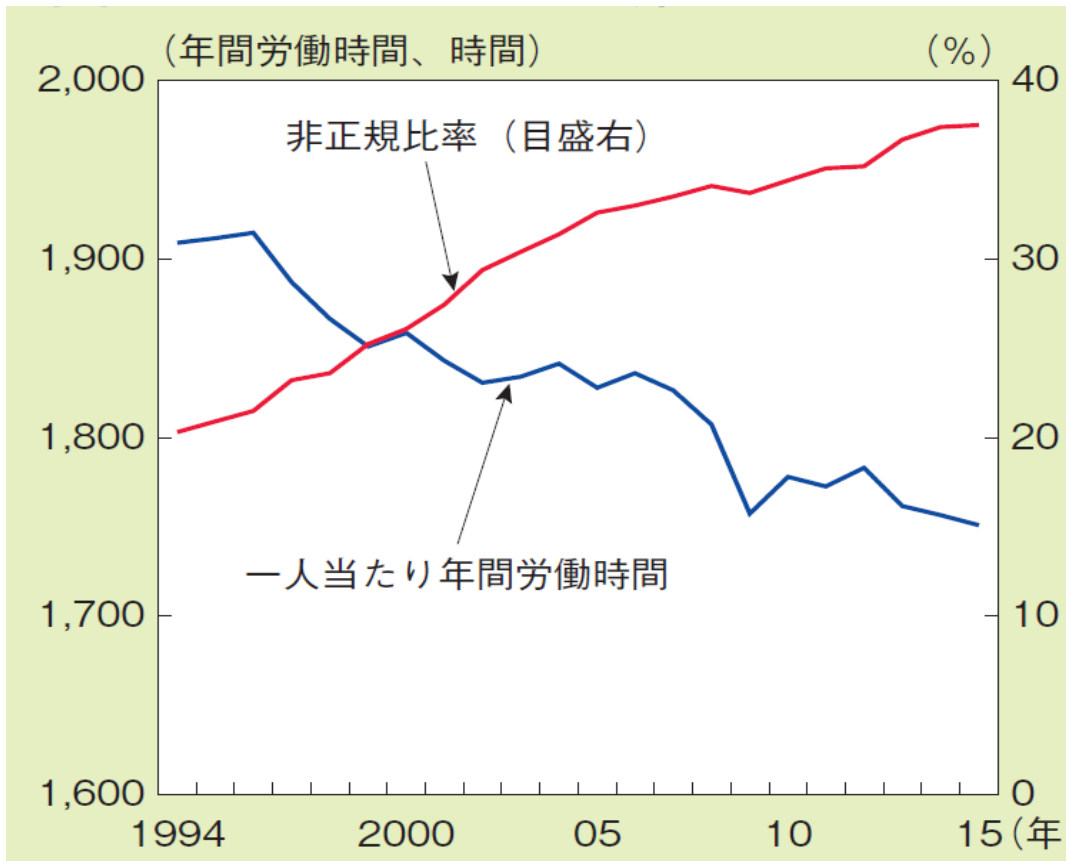


# 現状

---

日本では「働き方改革」法案が可決され、企業は働き方改革を導入するようになったが、実際は思うように推進できていない。従業員のモチベーション低下による**離職**、**人員不足**での無理な業務で、どうしても**長時間労働**から抜け出せないという現状。





↑一人当たり労働時間と非正規比率

↑長時間労働者割合の推移(正社員)

「非正規・パート職員」などの短時間労働者の増加が要因。  
リーマンショックが発生した2009年に激減したが元に戻っている。

出典元: (『内閣府』第2章 働き方の変化と経済・国民生活への影響)

# 問題点

---

- ・ **働き方改革** は9割の企業がやっているが、思うように推進できていない点。
- ・ **長時間労働** から抜け出していない点。

# 今後の課題

---

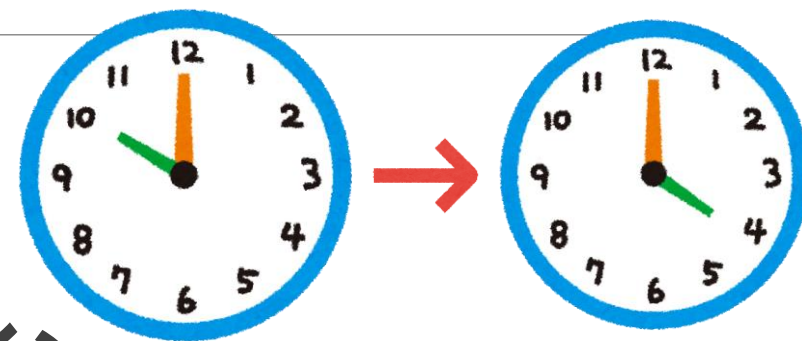
**長時間労働**から抜け出すために、  
企業が行っているユニークな  
働き方改革の例をいくつか  
紹介します。

# 株式会社スタートトゥデイ

「ろくじろう」

一日六時間労働を可能にし、

短時間で集中すれば生産性が  
向上することを証明した。



# サイボウズ株式会社

---

## 「働き方宣言制度」

自らの理想の働き方をゼロから作り上げて宣言する。

これにより28%→4%まで離職率が下がった。





# SDGs実現に向けて ～10代からの提言～

---

より多くの企業が、  
今回の例で出したような改革を進め、  
海外の働き方も見習っていき、  
**ライフワークバランス**を  
保って行ってほしい。



# 考察・感想

---

働き方改革について調べてみて、  
多くの企業が働き方改革を実践している反面、  
**効果を実感できていない企業も多い**ことが分かった。  
そのことから、より具体的な改革の案を紹介して、  
たくさんの企業がこのような改革を行えばより  
働きやすい社会になると思った。